

---

# twilight star

AKIRA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

t w i l i g h t   s t a r

### 【Nコード】

N 2 1 1 1 I

### 【作者名】

A K I R A

### 【あらすじ】

一人の男の物語。

彼は夕闇に染まる空を眺めていた…。

一人の男が大地に寝そべっていた。  
ゴツゴツしている事も気にせず、ただ空を見ていた。

内戦の続く国にカメラを持って男は身を置いていた。自分の国に  
男は妻と子どもを残し、戦地に向かった。

『俺はこの仕事をやめる気が無い。いつか死ぬかも知れない男だ。  
別れたければ言うてくれ』

いつだったか、こんな事を妻に言った。妻の幸せを願うからこそ  
言った言葉だった。

だが妻は微笑んで言った。

『私の幸せを願うなら、私を悲しませないことね』

その言葉に男は嬉しくもあり、辛くもあつた。

妻の幸せは男の生死に掛かっていたから。もし自分が死んだ時は、  
この愛する女性を悲しませ、自分にはその悲しみを癒す事が出来な  
いから…

男は銃弾に倒れた。

逃げ惑う人々に混じりながら、カメラを持って辺りの様子を収めていた。

その時、男がカメラを向けてきた行為を見た兵士が、男に向け発砲したのだ。

撃たれた場所が即死に至らない場所だったが、出血が酷く、息も絶え絶えになっていた。

誰も男を助ける事をしない。助けたくても助けられないからだ。仰向けに倒れた男を挟み、敵対する軍が撃ち合いを始めたからだ。

うつろな目の男は、銃弾の飛び交う夕暮れの空をぼんやり見つめていた。

飛び交う銃弾が少し光を帯びた残像を残し、夕暮れの空に浮かび上がった。

（綺麗だ…）

それはまるで流星群のように目の前を飛び交っていた。

（せめてこの光景を愛する妻に見せたい、私の死を悲しまないでくれ）

その想いだけでカメラを空に向けた。

一人の女性がある写真を手に取り見ていた。

その写真には男が最後に見たのと同じ光景が写っていた。

女性はそれを見て大粒の涙を流しながら微笑んでいた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2111i/>

---

twilight star

2010年12月18日14時30分発行